

# 事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8282
担当部課名	管理部	学務	課	学務 係
事務事業名	要保護及び準要保護生徒就学援助費		事業コード	14123

1 総合計画における位置づけ

政策名	第4章	人間性豊かな子どもを育成します	事業開始年度
基本施策名	第1節	ゆとりある学校教育の創造	~63 年度
施策名	第2施策	教育内容の充実	

2 実施根拠及び関連法令等

学校教育法・要保護及び準要保護児童生徒援助費補助金及び特殊教育就学奨励費補助金交付要綱(国)・相模原市就学奨励規則・相模原市就学奨励金交付事務処理要綱
---

3 事業概要

(1) 事業の目的 経済的理由のため、就学困難な学齢生徒に対し、奨励金を交付し、就学を奨励することを目的とする。	(2) 対象(誰、何) 市立中学校に在学する生徒の保護者のうち生活困窮者 対象数 約1200人
(3) 平成13年度事業の内容 経済的な理由により、就学が困難な生徒の保護者に対して、学用品費等の一部の援助を行った。 ・援助対象者 1,111人 ・学用品費等の援助費 61,202,516円 ・めがね購入費(市単独分) 2,507,894円 (国庫補助金 18,890,000円)	(4) 総合計画・実施計画における概要 なし  (5) 個別計画の概要 計画名 なし 計画年次 年度~ 年度

4 評価指標

指標名	援助率		
指標式	就学奨励金認定者数/生徒数×100		
指標設定の意図	市立中学校への就学の奨励を図る。		

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標	5.8	6.4	a 7.0	b 6.4	8.3	
指標			c	d		
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	49,563	55,359	63,711	66,269	73,022
	人員・時間数	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
	人件費	25,260	25,260	25,260	25,260	25,260
	その他経費	0	0	0	0	0
合計	74,823	80,619	88,971	91,529	98,282	
特定財源	17,079	16,963	18,890	18,890	28,082	

6 個別評価

(1) 達成度…目標をどれだけ達成したか		
評価	A : 達成している ( 100% ) B : 一部達成していない(100%> 80%) C : 達成していない ( 80%> )	= 、 、 の平均値 = 110.0%
	$\frac{a}{b} = \frac{7.0}{6.4} \times 100 = 110.0\%$	$\frac{c}{d} \times 100 =$ $\frac{e}{f} \times 100 =$
理由 :	申請者数、認定者数は年々増加している。	
(2) 必要性…時代変化に適応した事業内容か		
評価	A : 適応している B : 一部適応していない C : 適応していない	理由 : 社会経済が低迷している中、教育の機会均等という観点からも、安心して義務教育を受けられるような環境づくりが必要であることから適応している。
(3) 経済性・効率性…費用対効果は妥当か		
評価	A : 妥当である B : 一部妥当でない C : 妥当でない	理由 : 教育の機会均等の観点からも、経済的理由により就学困難な生徒の保護者への就学援助は妥当である。(就学援助システムの開発により、事務処理の速度を上げることができ、担当職員の残業も減っている。)
(4) 事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か		
評価	A : 代替の可能性ない B : 代替の可能性低い C : 代替の可能性高い	理由 : 学校基本法第25条により、市町村は就学援助実施義務を負うと規定されているため、代替の可能性はない。
(5) 市民満足度…対象市民の満足は得られているか		
評価	A : 満足できる B : 一部満足できない C : 満足できない	理由 : 保護者から奨励金の額を増額してほしいとの要望がある。
(6) 有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か		
評価	A : 有効である B : 一部有効である C : 有効でない	理由 : 援助対象者にとって、当該奨励金は有効に活用されている。

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 案内チラシに所得の目安をいれるなど、制度の周知徹底を図り、就学を奨励する。
	<p>コスト改善余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 就学奨励金の主旨から見れば改善の余地には限りがある。

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	主な県下各市の援助率(平成13年度) ・相模原市 7.04%      ・横須賀市 7.97%      ・厚木市 7.33% ・平塚市 6.22%      ・伊勢原市 6.37%      ・海老名市 3.76% ・小田原市 4.46%      ・秦野市 4.48%      ・藤沢市 8.84%
今後の進め方			説明
<input checked="" type="checkbox"/>	継続		
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了	本事業に関しては、市立中学校への就学の奨励を図る目的を達成させる意味で、今度も継続する必要がある。	

8 二次評価における変更点

--